

**新たなCAS機能に関する検討分科会  
第2回資料  
《ケーブルテレビでのCAS利用》**

---

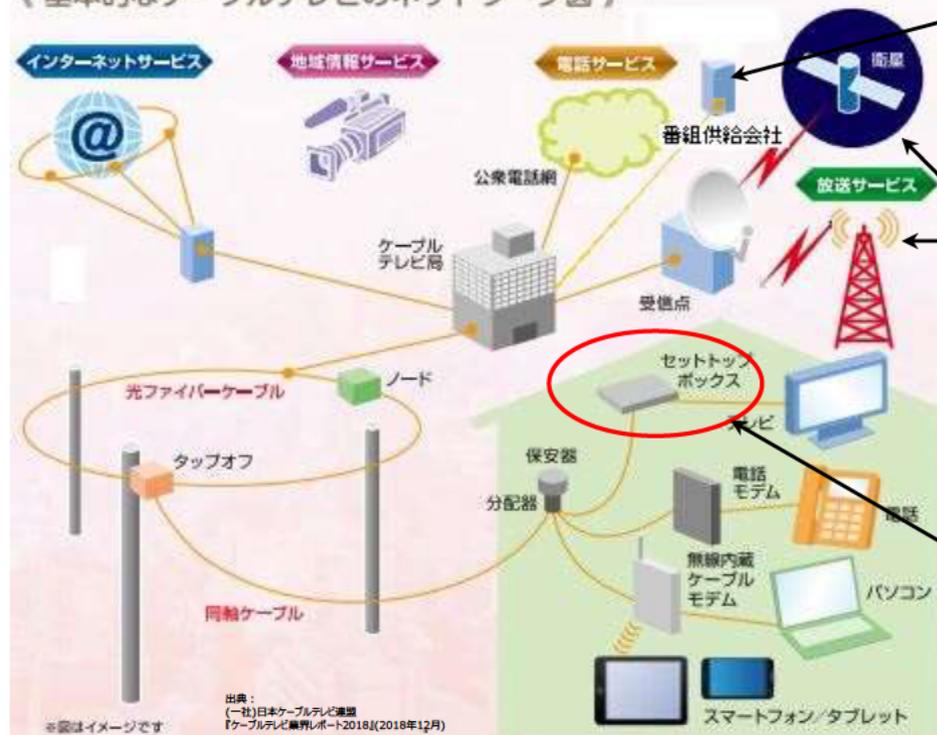
2019年2月28日  
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

# ケーブルテレビ事業の放送インフラとCAS利用

## ■ ケーブルテレビ事業の放送インフラ

事業者は、地域にてインフラ設備を整備、宅内へ引き込み、サービスに応じ**機器(STB等 通常レンタル)**設置してサービスを提供 **(故障対応/保守も含む⇒ケーブル事業者が駆けつけ修理対応を行う・原則加入者費用負担無し)**

〈基本的なケーブルテレビのネットワーク図〉



②ケーブル多チャンネル（自主放送）サービス  
 ・番組供給会社等が制作した番組を有線放送設備を介して視聴者に伝送するサービス。

①再放送（地デジ/BS）サービス  
 ・地上波放送やBS放送の電波を受信し編集無く、有線放送設備を介して視聴者に伝送するサービス。

セットトップボックス(STB)  
 ・ケーブルテレビ放送などの放送信号を受信して、一般のテレビで視聴可能な信号に変換する装置。

## ■ 接続世帯約3000万世帯、内STB利用は約1000万世帯

✓ **STBにより特定の視聴契約者に放送サービスを提供 (STBには視聴制御・コンテンツ保護両機能が必要)**

- ①再放送（地デジ・BS放送\*1）サービス
- ②ケーブル多チャンネル（自主放送）サービス

\*1 有線放送設備内ではトランスモジュレーション方式伝送を用いる為STBが必要

✓ 残りSTB無し2000万世帯はアンテナ代わりの利用（通常 再放送地デジ視聴のみ可能）  
 直接TVに接続=TV搭載のCAS利用

# ケーブルテレビでのCAS利用

## ■ 2000年～ 2K放送対応STB

B-CASカードとC-CASカードを搭載

※独自CAS (C-CAS) でケーブル多チャンネルサービス視聴制御 (技術的にはB-CAS機能と同等)

➢ B-CASカード

- ① 2K再放送 (無料地デジ/BS) のコンテンツ保護
- ② 2K再放送 (有料BS) の視聴制御

➢ C-CASカード

- ① 2Kケーブル多チャンネルサービス (自主放送) の視聴制御

## ■ 2014年～ 4K8K放送に向けてのCAS (次世代) 検討の動き

- ✓ 2014年9月 総務省 新4K8K衛星放送ロードマップ公表
- ✓ 2015年2月 新CAS検討準備会設立 新CAS方式の検討開始 (後のACASに)
- ✓ 2015年10月放送4社 新CAS協議会設立 (ACASの開発および運用管理)
- ✓ **2017年4月 ケーブルテレビ連盟 新CAS協議会入会 (ACAS方式採用)**
  - ✓ BS4K8K再放送はACAS方式必要
  - ✓ 4Kケーブル多チャンネルサービス (自主放送) もACAS方式採用 (独自CASと比較し技術・経済条件で不合理性無し)

## ■ 2018年～ BS4K放送対応STB(2タイプ)

※ACASチップはB-CAS機能を包含

### ● ACASチップ+C-CASカード タイプ

➢ ACASチップ

- ① 2K4K再放送 (無料地デジ BS) のコンテンツ保護
- ② 2K4K再放送 (有料BS) の視聴制御

③ 4Kケーブル多チャンネルサービス (自主放送) の視聴制御

➢ C-CASカード

- ① 2Kケーブル多チャンネルサービス (自主放送) の視聴制御

### ● ACASチップONLY タイプ

➢ ACASチップ

2Kケーブル多チャンネルサービス (自主放送) を含む全ての視聴制御とコンテンツ保護

※ACASチップでC-CAS機能代替可能

2K 4K  
STB併存